ぐあああっ!!!
ズドッ
はは…
相変わらず彩姉は容赦ないなぁ…
ポヨン
ッ…
彩姉これ！
隼(はやと)かありがとう

この人は早乙女彩音

僕の幼馴染だ

見た目と違って口数も少なくて表情も硬いし腕っぷしもかなり強い

数多の不良を倒してきたことから学校のみんなから恐れられている

でも本当はすごく優しくてかっこいい人なんだ

僕がいじめられると必ず助けてくれる

僕の恩人だ

そんな彩姉に僕は恋をした

抑えきれないこの気持ちを彩姉に告白するとー

何も言わずにキスしてくれた

あれってやっぱりOKって事なのかな…

おーおー相変わらず暴れてんなぁ

!?

加藤!?

あ～!? 一年のカスが先輩を呼び捨てはいけねーよ…

なぁッ!?

ブォッ

ぐっ

!!

部を追放されたお前が何の用だ

加藤!!

よぉ早乙女

今日はオメーらに会いに来たんだぜぇ

これ

スッ

お前とこの一年だよなぁ？

マズいんじゃねぇの？うち不純異性交遊には厳しいの知ってるだろ～

・・・・

二人とも退学だろうなぁその一年もせっかく入学したばっかだろ

あ～かわいそ～笑

何が言いたいんだお前は!!

ニヤ

俺と勝負をしろ

よし準備は出来たな

条件は言った通りだいいな？

私が勝ったら・・・

画像を消してもらう！

俺が勝ったら・・・

俺の女になってもらうぜぇ♥

MASARU v.s. AYANE

ダメだ彩姉っ！こんな勝負受けちゃっ!!

大丈夫だよ隼私に任せて

絶対私が勝って隼を護るから

いくぞ!!

彩姉ぇッ

一撃で

仕留める!!

スウッ

もらった!!

ドオォン

あ～何だぁ？

ジュウウウウウウ

!?

ぴき

ぴき

ぴき

股開いて誘ってんのかぁ？

何…だと!?

私の蹴りが効かなー

ガッ

あ…っ

彩姉ぇッ!!!

メリ

メリ

メリ

メリ

そんなー

くらっ

ブっ

ド

ぐっ!!
くそおッ!!
あ〜?
ぶおっ!?
ゴリュ
トサッ
くくく…
ハーハッハッハ!!
極上褐色JKマンコ
ゲェ〜〜ット♥
ぎゅむ
もわ。

あれから数日後
僕と彩姉の生活は
変わってしまった

毎朝加藤と彩姉は一緒に
登校するようになった

彩姉が勝負に負けて
加藤の女になった事で
学校中がこの話題で
持ちきりだった

ざわ
ざわ

ぐっぐぐっ
ぎぎぎ…
!!?
ズプッ
ズプッ
ズプッ
ズプッ
ズプッ
ズプッ
はーいこれで彩音の9連敗目〜
ピク
あッ
ストン
彩姉!!?
何でどうして…朝練のハズじゃ
ていうか彩姉がアイツとっ…!!
ったく彩音も懲りねぇな〜
毎日毎日勝負を挑んでは俺にボコられてよ
はぁ
はぁ
はぁ
ぐちゅ
強気な女は嫌いじゃないがメスとしてオスに絶対に勝てないって事を本能に叩き込んでやるよ♥

ズッポシ
ぶうっ
ぶんっ
ぶんっ
にしても彩音のまんこヤベー気持ちいいわ
ばちゅっ
ばちゅっ
ばちゅっ
ばちゅっ
ばちゅっ
ばちゅっ
最初は無理やり押し込まねえと入らないくらいキツマンだったがようやく俺のチンポに馴染んできたな
くっぽ
くっぽ
くっぽ
うるさい！私たちにはペースが・・・
てか男がいてセックス全然してねえとかお前らどんだけ奥手なんだよ
ぱん
ぱん
ぱん
ぱん
どのみちあのカスにゃ勿体ねぇマンコだ俺がたっぷり使ってやるよ♥
だれか
お前なんかの

ぐぃっ
あっ
あ〜マン肉トロトロきつきつで気持ちぃ〜
やめ…ろ
キンタマ上がってきた〜もうイキそうだこのまま中に出すぞ!!
ヤッ…中だけは絶対ッ
彩音の記念すべき10連敗のクソザコマンコにザーメン出す!!
アッポ
アッポ
アッポ
アッポ
ぐっちょ
ぐっちょ
アッポ
アッポ
射で精る!!!
プシュッ
あぁぁぁっ
ドプッ
ドプッ
一番子宮(おく)にッ
あッ…
あッ…
びゅっ
びゅるっ
びゅっ
びゅ〜
精液出てる…ッ!!
びゅ〜
びゅ〜
びゅ〜
びゅ〜

ふぅ〜
出た出た
ズルン
ブポォ
ガクン
あぁ
あぁッ
はーい
私は…
あッ
自分でなんか…
これで彩音の0勝10敗〜
パァ
ドロッ
お
まだ立てんのかよタフな女だぜ
彩姉ぇ…!!!

何度やってもムダ
彩音は絶対俺には勝てねぇよ
ガはッ
すぅー
すぅー
すぅー
むわっ
お前はこうやって臭ぇメス臭嗅がせて俺のチンポをイライラさせてればいいんだ
くっくっ…
いくぞ
ちゅっ
ちゅっ
くちゅ
チュッ
ズ
ぶぶぶ…
足腰立たなくなるまでボコってやるよ♥
びくっ
おぉぉぉ

どうだ下から子宮突き上げられるの気持ちいいだろ
んっ
んっ
きもちよくなんかっ…
ギュッ
ズッポ
ズッポ
ズッポ
ズッポ
ズッポ
ズッポ
ぐっちょ
ぐっちょ
ぐっちょ
いい加減素直になれよ
さっきから軽イキしてるのバレてんぞ
ビクッ
んッ
ぷんぷん
ぷーぷぷ
ほらまたイッた
くそっこんな奴なんかに負けるわけには…
コロ…す…
何とかしないと!!
おおおおおおおっ!!!
じた
ばた
じた
ばた
ちょっバカ暴れるなって！
うおっ
せめて一矢だけでも
くらっ
喰らえ!!
ズッ

ば～か

ガッ

ぶるるッ

ぶるるるッ

え？

あぁヤベ～これ
めっちゃ気持ち～

トプッ

トプッ

なぁ…

なんっ…？…

びくっ

びくっ

びくっ

びくっ

最後まで
ぐに
ぐに
あっ
あっ
搾り取れ…
あっ
ブポッ
ふ〜
めっちゃ出たぜ
だから言っただろ
お前は俺にゃ勝てねえって
はー
はー
はー
ゴポォ
ひくひくん
奇策以前に
圧倒的実力差が
性別っていう絶対に
超られない遺伝子の
差があるんだよ
ここまで彼氏に
歯向かった罰だ
もう少しお仕置き
してやるよ
こんな奴に
こんな奴なんかに
私は…
ぴく
ぴく
ぴく
あっ
あっ
負けない!!

よーし
今日はこんな所で勘弁してやるよ
これに懲りなかったらまたいつでも勝負を受けてやるぜ
まぁ結果は目に見えてるんけどなw
あっ…あぁっ
あっ…
どろっ
びくっ
ちくしょう…ちくしょうッ!!
彩姉ッ!!

彩姉・・・
いつもみたいにご飯を
作りに来てくれたけど
今日の加藤との事
話してくれなかったな
シャコ
シャコ
幼いころ両親を亡くして
身寄りのない僕に唯一
寄り添ってくれた彩姉・・・
プニュ
僕の為に色んなモノを
犠牲にして支えてくれた
そんな彩姉が
あんな奴なんかに・・・
今度は僕が彩姉を
守るんだ!!
彩姉!
んーどうした〜?
あいつに何か
変な事されてない?

実は彩姉とあいつが良くない事をしてるって耳に入ってきてさ…

何か困ってるなら僕に言って欲しいな…はは

バカっあいつには何もされてないよ！

あんな奴私が倒して画像の事はちゃんと消させるから大丈夫！

だから隼は何もしなくていいから

全部お姉ちゃんに任せて！

どろ

それ以上僕は何も聞く事が出来なかった

これで彩音の0勝30敗だ
うぅ…
くっ！ 隼にはああ言ったけど全く歯が立たない…
このままじゃずっと弱みを握られたまま…
何より身体がアイツのに馴染んで拒否したくても勝手に反応してしまう！
こんなの嫌なのにアソコがアイツのを欲して疼く…
もうこの快楽に耐えられる気が――!!
あ～ダル
もう何度もザコの相手すんのダリィから次が最後の勝負な
なっそれ私の！
そんな勝負受けるわけ…
俺はいいんだぜ？ あの画像をバラシて首ハネられてもよ
くっ!!

隼にあの画像を送る
あいつが助けに来るまで
イかなかったら彩音の勝ち

ヴヴッ

ヴヴッ

イったら彩音の負け
身も心も全て俺のモンだ

ヒュー

ヒュー

よし

ゴッ

ゴゴッ

ヴヴヴ

ヴヴヴ

じゃあ始めんぞ

トクン

トクン

とろぉ

送信っと
シュコ
?
ピコン
!!?
彩姉!!
ガタッ
おっ早速既読付いたぞ
んっんんっ
んおおおっ
ヴヴヴヴ
ヴヴヴヴヴ
あいつがどんな顔してここに来るのが楽しみだぜ
ゴリュ
パンパンパンパンパンパン

すまない隼
お前を護るハズが
こんな事に…

信じて耐える事
しか出来ない私を
許してくれっ!!

ヴヴヴ

ふっ
んんっ

ハハッ

ズッチャ
ズッチャ
ズッチャ
ズッチャ
ズッチャ
ズッチャ

いつもならそろそろ
イク頃だな！
隼に無様なイキ顔
晒してやるぜ!!

これでお前は
完全に俺の女だ…

フゥ…

イけっ!!!

ビクン
チュウン
ビクンっ

ポタッ
てめぇ・・
耐えやがったな!?
フリッ
フリッ
するっ
ガッ
ツッ
はぁ
はぁ
はぁ
私はもう負けない!!
私の勝ちだ!!
カチン
あ?
そうかよ
ぐぃっ
スッ
隼が私の為に駆けつけてくれている
それまで私が負ける訳にはいかないんだよ

ボディブロー
ズドッ
お？
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
人が手加減してりゃ調子に乗りやがって！上等だよっ!!
ぐっ
!?
遊びはもう終わりだ！
ぐっ
おおぉぉぉ
今から本気でお前を堕とす!!

身体が急に熱くなって突かれる度に快楽の波が大きくなって…

ミヘ

ミヘ

ミヘ

一体何を!?

何を…

入れ…て

ああこれな

媚薬だよ

早速効いてきたようだな

え…びや…?

街の闇市場でやべぇブツ扱ってる商人から頂いたんだ

これキメて堕ちない女はいないらしいから覚悟しろよ

そんな…!!

ばっちゅ

ばっちゅ

ばっちゅ

ばっちゅ

ばっちゅ

ばっちゅ

証拠にさっきからずっと軽イキしてるだろ

ケツ穴ひくついてんぞ

ヒクン

イッ

イってない!!

まあ軽イキは許してやるよ

ヤチッ
ヴヴッ
ヴヴヴ

なあもう楽になっちまえよ

ぎゅッ

ごぐ…

俺の女って認めれば気持ち良くなれるんだぜ

マンコももうイキたいってずっとヒクついてる

ヒクン

ヒクン

軽イキで誤魔化すのも限界だろ？

すっちゃ

すっちゃ

すっちゃ

すっちゃ

すっちゃ

すっちゃ

すっちゃ

びくっ

もうイっちゃえ♥

隼…

んんぅ…

ヴヴヴ

ヴヴヴ

頼む…

はやくー
ドスッ
ドスッ
ドスッ
ドスッ
ブッ
ぐぐぎぎっ
はやくー
びゅるるる
はっ
はっ
はやくー
はやくー
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
ずちゅ
ずちゅ
ぐっ
ぐっ
ぐっ
草ォ…
愛して…る
でないと私…
もう…
ビュルッ
ガラッ

彩姉ぇっ!!!
ドンッ
はー
はー
お
ようやく来たか
遅かったじゃねぇか
うるさい!!
彩姉は
無事なのか!?
そう焦んなよ
ちょうど今決着が
着いた所だ
彩音のお前への気持ちは
すごかったぜぇ
相当お前の事好き
なんだろうな
彩姉・・!!
ホッ
俺も本気だったが
かなりしぶとくてよぉ
よくやったよ
じゃっじゃあ・・・!
ああ

俺の勝ちだ

あっ♡

あぁ♡

あぁぁ♡

彩姉!!?

ドロォ♡

ビクッ

集ぉ…

あぁ♡

ごめ…ん

私…

負けちゃった♡

テテレ♪
レ♪
テテレ♪
テテレ♪
……
あの出来事から一ヶ月
彩姉はあいつとまだ
関係が続ている
彩姉
今日はこれそう？
18:56
また彩姉のご飯食べたいな
18:59
あ、でも忙しかったら大丈夫だから
19:01
一人で何とかするから気にしないでね
19:02
19:30
ごめん間違えちゃった
毎日ご飯を作りに
来てくれてたけど
最近は作り置きが多い
今もあいつどこかで
勝負をしてるんだろうな
ぐっ
あいつのせいで
全部全部――ッ
くそっ!!
ドンッ
……
はぁ
彩姉…

ギシ
ギシ
♡
たぷん♡
たぷん♡
ズスン
ズスン
ズスン

うるさい事言う悪い口なんかこうしてやる♥
ちゅ
はぁ
れろ
れろ
ぷちゅ
はぁ
れろ
ずるるる
ずちゅぅぅ
ずぢぢぢ
ずぢぢぢ
パン
パン
パン
パン
パン
パン
パン
どうだ私のベロチューの気持ちいいだろ♥
そのまま情けなくイって敗北ザーメン子宮に蒔き散らせ♥
ずるる
ずちゅる
ずぢぢぢぞ
なかなかやるじゃねぇかだがまだ負けてねぇぞ
攻守交代だ
イけっ♥
ビッ
ビッ
ビッ

すっかりチンポ狂いのドスケベ女になっちまったな

喜んでロオナホになってくれるんんだからよぉ

あの彩音が俺のチンポからちゅーちゅー吸い付いて離れねぇや！

ぱんっ ぱんっ ぱんっ ぱんっ ぱんっ ぱんっ

ぐっぽ ぐっぽ ぐっぽ んもっ んもっ

きゅん♡ きゅん♡

ずぼっ ずぼっ ずぼっ

♡

ぬぽっ

ぬぬぬぬぬぬ

ヤベッイ♡！

ずぞぞぞぞ♡

れろ れろ れろ れろ れろ れろ

射精る！

びゅるる♡ びゅぶっ ゴッ んぉッ♡

ゴクン♡

どぷ るぉ♡

んはぁ♡

このまま子宮(ナカ)に出して欲しいか!?
欲しい♥
ちゅ♥
ちゅぱ♥
ぢゅる♥
ぱちゅ♥
ぱちゅ♥
ぱちゅ♥
ぱちゅ♥
ぱちゅ♥
ぱちゅ♥
なら負けを認めて俺の事好きって言え!
それは・・・
3秒な
はい3・・
2・・1
分かった! 言う! 言うから!

ぬぷっ
トロォ
弱いザコメスの私の負けだ!!
好き♥勝好き♥
ヒュルルル♥
勝のチンポ好き♥

これで彩音の0勝50敗だな

ぬぽぽん

はぁ

はぁ

はぁ

記念に一枚撮ろうぜ

ぷく

ぷく

あぁ

あぁ

ぷく

本当は途中から気付いてたんだ

ぷく

ぷく

ピ

ピ

ピ

ピ

力づくで犯される事を悦んでいた自分に

勝とうだなんて思っていなかった

はい

チーズ

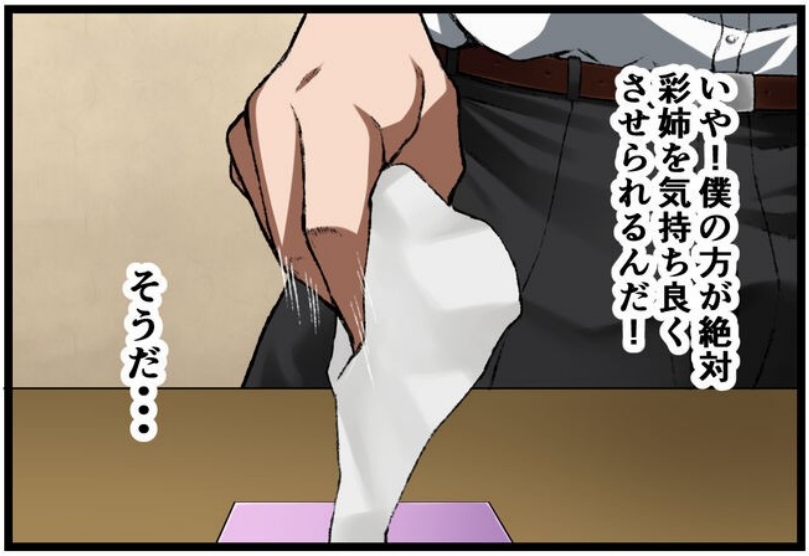
そう

強いオスにメスは

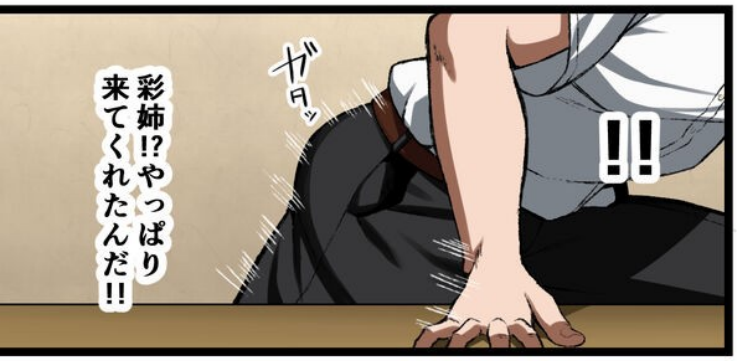
勝てない♥

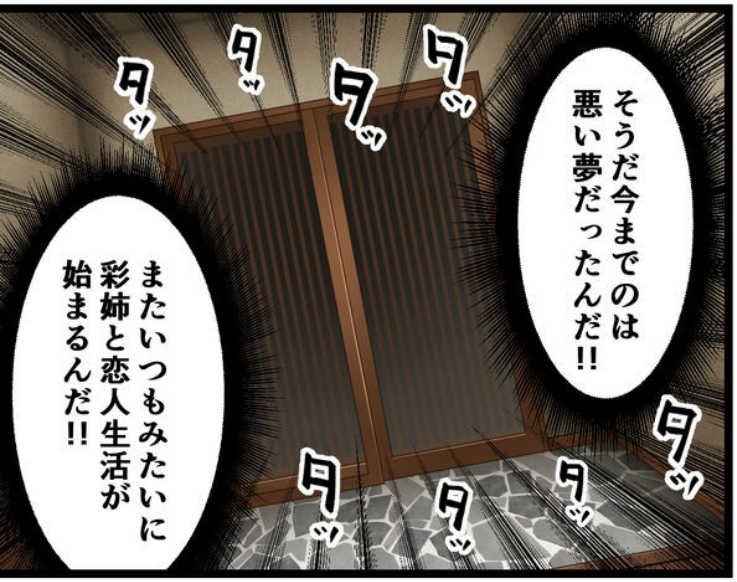
うっ
ピュルッ

また彩姉でやっちゃった…
はぁ
はぁ
あの時の彩姉…気持ち良さそうだったな


いや！僕の方が絶対彩姉を気持ち良くさせられるんだ！
そうだ…

彩姉は僕にしか幸せに出来ないんだ!!!
ピンポーン
タァ


ガタッ
!!
彩姉!?やっぱり来てくれたんだ!!


そうだ今までのは悪い夢だったんだ!!
またいつもみたいに彩姉と恋人生活が始まるんだ!!
タッ
タッ
タッ
タッ
タッ
タッ
タッ

ガララ
ただいま～

ちょっと付いて来ないでって言ってるでしょ

固ぇ事言うなよ～たくさん動いて腹減ってんだよ

他で食え

いてっ

彩音もさっき腹鳴ってただろあんだけ激しく腰振ってたもんなw

ばっ!!

体も汗と彩音のマン汁でべとべとシャワー浴びて～

ちょと！隼の前でやめてっ！

な～いいだろ～彩音の飯世界一うめぇから食いてえんだよ～

はぁ・・・

ごめんね隼こいつ食わせたらすぐ帰らせるから！

う・・うん

いいんだ・・・

イチャ♥

イチャ♥

イチャ♥

彩姉が幸せならそれで――